

平成28年度学校運営計画書

学校名 貴志小学校

校長名 北山 圭子

作成日 平成28年 4月28日

学校教育目標

自ら考え、正しく判断し、進んで実践する力を身につけた人間性豊かな貴志の子ども
の育成をめざす。

育てたい子ども像

思いやりのあるやさしい子
(徳)

めあてをもってやりぬく子
(知)

たくましく生きる元気な子
(体)

開かれた学校

ゆたかな心

確かな学力

本年度の
重点目標

本校の取り組みを地域
や家庭に発信し、交流する
ことを通して、地域に認め
られる貴志っ子を育てる。

各教科や道徳、特別活動、
総合的な学習との関連を図
りながら、人権教育に取り
組む。

「うちどく」を活用し、読
書活動を進める。

学力の向上をめざし、学
習形態や指導方法を工夫
し、「楽しい授業」「わかる
授業」の創造と展開に努め
る。

目標達成に
向けた
具体的
方策

- ・学校だよりの内容を一新し、月1回の発行の中に、学校の教育活動を具体的に保護者に知らせる。
- ・「うちどく」の図書ボランティアを募集し、大休憩・昼休憩の図書の貸し出しや読み聞かせなどで、児童との交流を図る。
- ・クラブ活動や総合的な学習の時間等に、地域の方との交流の場を設けたり、講師として招き指導を仰いだりする。
- ・育友会との共催の事業を計画し、実施する。
- ・和歌山大学との連携を図り、教育実習生や教育ボランティアを積極的に受け入れる。

- ・道徳の授業を核とした「総合単元的な道徳学習」をとおした人権教育を研究の柱とし、年間4つ以上の校内研究授業と2つの公開研究授業を行う。
- ・「うちどく」の取り組みを継続し、読書の習慣づけを図るとともに質の向上を目指す。
- ・児童会が中心となり、校門での「朝のあいさつ運動」を行う。
- ・生活習慣の実践目標「生活習慣のあ・い・う・え・お」を継続し、重点目標を掲げ、定着を図る。

- ・基礎的な力を向上させるために、授業形態を工夫し、個別指導が必要な児童には、算数科を中心に少人数での指導やT Tによる指導を行う。
- ・話し方や聞き方の系統的な指導に努めるとともに、ノート指導に力を注ぐ。
- ・基礎学力テストを年2回行い、児童の力を知るとともに、定着度の低い児童に対しては、個別指導を行う。
- ・課題解決型の授業を定着させ、児童相互の学び合う場を設ける等、思考力・表現力向上に努める。
- ・放課後学習等フォローアップ事業を活用し、放課後学習での補充学習を行う。